

## 古利根川で13種類の鳥に!

## ●冬の野鳥観察会!

昨日の午後は春日部地区浦高会の「春日部麗しの杜づくり・冬の野鳥観察会」でした。午後2時30分、東武野田線・藤の牛島駅に参加者13名と案内役の〔財〕埼玉県生態系保護協会・春日部支部の三好あき子さん達3名が集合しました。徒歩で、古利根川を渡り川久保公園に向かいました。



川久保公園では会員2名と地元の川久保自治会から持木副会長さん、滝澤市議会議員が私たちを迎えてくださいました。「春日部麗しの杜づくり事業」

は、地元の川久保自治会の皆さんと2年前にスタートした事業ですので、こうして地元の方々に応援していただけるのは嬉しいことです。

三好さんからご挨拶【写真①】。「皆さん、こんにちは。これから古利根川に暮らす冬鳥の観察をしたいと思いますが、2週間前から護岸工事が始まっていて、本来、この辺りに暮らすカモが残念ながら見る事ができません。後ほど上流を観察したいと思います。この公園では、皆さんが植えてくださった木々も育ちつつあり、また芦原にいる小鳥たちを見ることができます。それでは参りましょう。」

三好さんが歩き出してもまもなく、頭上の木を指して話しています。種を付けたニレの木が、風に乗せて



て実を飛ばしているそうです。続いてハンゲショウの自生地の話がされています。続いて芦原にスコープを向けました。この芦原【写真下③】には、スズメに

似たオウジュリン【写真上②】が見られました。公園周辺の方々からは「枯れ草から野火でも出たらどうするのですか! 茹ってください。」と言われるのですが、小鳥たちにとっては、こうした芦原が大切なことがよく分かりました。



一昨年、私たちが植栽した築山では、木々が育っています【写真④】。岸边にはムクドリ、カラス、キジバトが集まり虫を啄んでいます。川辺の芦原【写真⑤】では、オウジュリンとアオジ【写真下⑥】が見られました。



【写真⑤】では、オウジュリンとアオジ【写真下⑥】が見られました。

ここではハクセキレイ、ダイサギ、ユリカモメ、ドバトを見ることができ、川久保公園はこの辺りまでとして、古



利根川を人道橋で渡ります。橋の下流では、おしりの三角に特徴があるコガモ【写真⑦】を見ることができました。

人道橋を渡り、児童センター・エンゼルドームの近くで、カモ達が岸に上がっている風景に出会いました【写真⑧】。三好さんの話では、カモが岸辺に上がっているのは、天敵がない場所だそうです。カモは夜行性なので、昼間は川の中や岸辺で休んでいるそうです。ここにはヒドリガモ、カルガモ、マガモが混じっているそうです。ここで13種類の冬鳥を見て観察会を終了することにしました。



この他にも、三好さんの資料では、カワセミ、セグロカモメ、カワウ、カイツブリ、セグロセキレイ、アオサギ、コサギ、モズ、シジュウカラ、コゲラ、ジョウビタキ、ツグミ、ヒヨドリ、メジロなどが見られるそうです。いや〜、観察会は楽しいものです。